

# 第五回国劳東日本 in サンヒルズカントリークラブ ゴルフトーナメント開催!



**大宮地区本部チームがV2達成！個人優勝は中村選手（水戸）**



前年度優勝・大宮地区本部による選手宣誓



## 個人成績

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS
優勝	中村 賢一（水戸）	39	40	79
準優勝	大槻 政幸（仙台）	39	42	81
3位	芦澤 修（上野）	43	39	82



【個人優勝】中村選手（水戸）



【団体優勝】大宮地区本部①チーム

## 団体成績

順位	団体	合計	競技者名	GROSS
優勝	大宮①	344	酒井 隆	83
			神山 和宏	84
			牛山 伸一	87
			島田 昇	90
準優勝	水戸	349	中村 賢一	79
			岩本 正夫	87
			福田 忠男	91
			安保 要	92
3位	仙台	353	大槻 政幸	81
			菊地 浩喜	86
			中鉢 悟	88
			小林 秀男	98

国劳東日本本部は9月11日、第五回国劳東日本ゴルフトーナメントを栃木県・サンヒルズカントリークラブに於いて開催しました。大会は各地方から参加された52名によって競われ、団体では東京・大宮地区本部①チームが連覇を達成。個人では昨年度個人2位の水戸地方本部・中村選手が優勝の座を勝ち取りました。

今号は、①第五回国劳東日本ゴルフトーナメント、②東日本青年部・平成採用者学習交流会の報告とします。

## 競技委員長より

国劳東日本本部ゴルフトーナメントも第5回大会の開催となりゴルフの競技としての浸透がなされたと思っています。

各地方も国劳東日本本部のゴルフトーナメントに参加するにあたって、代表選考に於いて予選会を開催して選手を決めているという気合の入れ方をしているとのこと。前回の優勝チームは念願の東京・大宮地区本部チームでしたが、今回は過去優勝経験のあるチームはタイトルの奪還、そして優勝を果たしていないチームは悲願の優勝という2文字に向けて調整してきたと思われます。

開催場所は、各地方からの参加を考慮に入れ、昨年と同様にサンヒルズゴルフクラブでの開催とさせていただきます。

今年の開催は、場所としては第4回大会と開催場所は同じなのですが、使用コースについては昨年のイーストコースからウエストコースへ変更しての開催とし、ロケーション、シチュエーション等の違いもありグリーンも含めて苦戦をされた方もおられたと聞いておりますが、幸いにも絶好のゴルフ日和となりました。

やはり選手には自分の持っている最高のパフォーマンスを出して頂けるように競技のルールも考えていかななくてはと思っています。

第5回大会は東京・大宮地区本部チームの連覇で幕を閉じましたが、各参加の地方本部の御協力により、成功裏に終了したと思っています。今回は平成採用者の20代の若者も地方の予選を勝ち抜いてはじめて参加されました。次回開催時には、各地方本部も組織拡大を視野に入れての大会参加をお願いするものです。

（競技委員長・吉田 秋雄）



（組合員の購読料は組合費に含まれます）

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国劳東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

No. 798 定価 20円

2017年  
10月31日

仲間の信頼  
力に変えて  
さら踏み出そう  
組織の拡大へ

QRコードからでも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

# 東日本青年部 平成採用者 交流会

10月15日・16日 開催!

東日本本部青年部は10月15日～16日にかけて、平成採用者学習交流会を開催。

労働法などについて学びたい、交流を深めてきました。今回は、昨年新規採用で加入した細川さんの歓迎も兼ね、岩手県北上市内での開催となりました。

交流会開催にあたり、彦田青年部長より「新規採用者の加入は10年連続となり、加入した青年・女性たちは希望する職種や昇進試験の合格など、組合差別がない事を証明しながら職場で奮闘しています。今回は国労へ加入された方の学習や労働組合の必要性などを考える場を作るために、平成採用者（女性部含む）やプロパー社員の方も対象とした交流会にしました」と挨拶がされました。

東日本本部・武田執行委員からは「歴史から学ぶ労働法制」とをテーマに、労働法制の成り立ちや労働組

合の役割について講演を頂きました。参加者からは「労働者を守る法律をきちんと知り、活かさないといけない」と理解できた「超勤の制度を再確認できて良かった」「憲法改正は労働法制の変更にも繋がる。労働組合の必要性を改めて学ばなくてはならない」などの感想が出されました。

その後、恒例になったスポーツ交流会ではバドミントン大会が開催され、日頃のトレーニングの成果を発揮した人や日頃の運動不足を後悔する人など、終始笑いが絶えない交流会となりました。

2日目の全体交流会では、青年部団体交渉に向けて取り組みについて意見交換を行いました。実際に交渉に参加した人から「団体交渉の中で改めて話すことは難しい」「考えている事と違う事を回答されるととまどってしまう」などの意見や、「団体交渉に参加して楽しかった」と心強い意見も出される中、要求の集約が図られました。

今回の交流会には、今年他労組から国労加入した方も参加し「こういう学習会は初めてで、国労に加入し



て良かった。もっと勉強したい」「国労加入して、今年主務職に合格した。差別は無くなった事を広め、仲間を増やしたい」などの感想が述べられました。

新採加入の組合員は全員試験に合格し、主務職にも合格者が出ています。私達が求める公正・公平な対応がされるようになってきている実態を広め、国労運動の継承・発展に向け、全員が活動していくことを確認し、交流会を終了しました。

全体の意見交換を通じ、労働組合として、発生した問題の事実を確認して団体交渉へ臨む重要性や、そのための技術継承が必要であると改めて思いました。私たち東日本本部青年部は安心して働き続けられる職場づくりに向け、引き続き学習と交流を継続し、組織拡大へと取り組んでいきます。

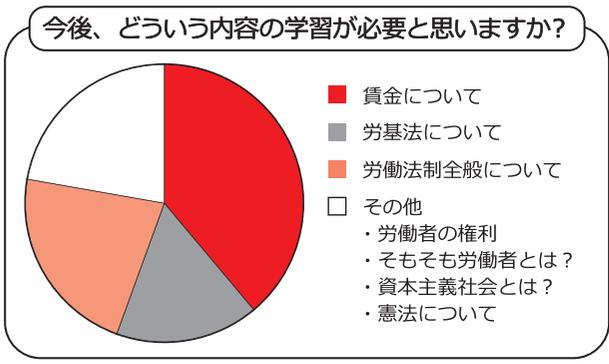
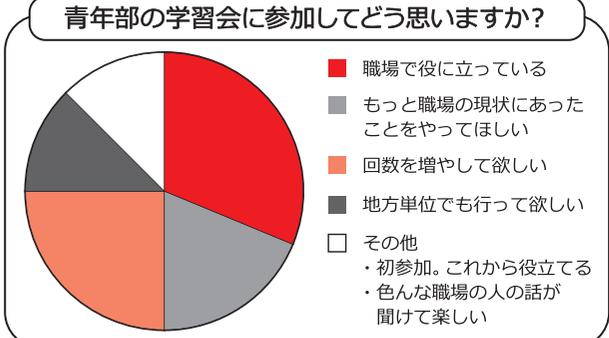
(東日本青年部発)

## 学習交流会 アンケートより (抜粋)

### ●全体交流の感想 「2日間を通して」

- ・楽しく、また学習は真剣に。良い2日間でした。
- ・テーマを設けず、トークの割合を増やして欲しい。
- ・普段会えない仲間と交流できる場なので元気が出るし、また頑張ろうと思った。
- ・新しい仲間が参加することで毎回違った形や交流が出来るので、次回までに新たな仲間を増やして盛り上げようと思った。
- ・様々な意見を聞くことができ、勉強になり、一人ひとりが意見を言える場になったと思います。
- ・組織拡大に向けて必要だと感じることは？
- ・自分の経験を伝え、若手の良き手本となる。
- ・少しでも自分から声を掛け、話しかけて交流をもつ。
- ・使える物は使い、人との繋がりを大切に。
- ・分会運動の活性化。

- ・問題点を明確にできたので、これを自分の職場に置き換えたり、会社へ要求する材料を見つけられる機会になりました。
- ・皆さんに会った瞬間、安心できるのが国労の良いところだなと感じた。
- ・自分自身を含め一人ひとりの成長を感じました。
- ・今後も参加して、もっと関わっていききたい。
- ・仕事はきっちり、遊びもしっかり、おかしな事には声を上げる。
- ・やる気とやりきる気持ち。
- ・青年学習の強化。
- ・未加入者との接点を持ち、会う機会を増やす。
- ・職場で一緒に働いている社員が困っていることや悩みを聞いて相談にのる。
- ・声をかけ、仕事をきちんとして、要求を作る。
- ・楽しそうに仕事をする。
- ・国労組織が将来展望に自信を持っていないので、これを克服する。
- ・まずは職場で仕事をきっちりといいつつ、地道な活動を続ける。
- ・小さな事でも行動する。
- ・労働条件の改善に向けて国労が頑張っている姿を見せることが大切。
- ・「あとは君たちの時代だ」とは言わないでほしい。
- ・前向きに考えて運動を盛り上げてほしい。
- ・加入活動が職場によって異なるので統一して欲しい。
- ・団結して、特に組織拡大について運動を進めたい。
- ・仲間を一人でも多く増やす事を努力していきたい。
- ・声かけを行える場を作り、機会を増やすきっかけが欲しい。
- ・積極的に学習交流会・大会へ参加してもらいたい。
- ・若手と一緒に退職までやっていきましょう。
- ・アルコールの飲みすぎに注意してください。



●先輩や国労全体に言いたいことはありますか？

- ・試験を受けてもらいたい。
- ・やる人とやっていない人の差が大きい。
- ・踏み出す一步が必要。

**アフラック**  
最新のがん保険、  
新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
NEW/  
**生きるためのがん保険** Days

女性特有のがんにも手厚い  
NEW/  
**生きるためのがん保険** Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)  
**アベニール株式会社**  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。  
(引受保険会社)  
**アフラック**(アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F  
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036  
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日